

2022 DISCLOSURE

静岡ろうきんレポート



静岡県労働金庫

R ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。



協同組織の福祉金融機関として 多様化する福利共済活動を通じ 勤労者が安心できる持続可能な社会づくりへ貢献

R ろうきんの事業運営3原則

労働金庫法第5条には、ろうきんの事業運営3原則

「非営利の原則」

「会員に対する直接奉仕の原則」

「政治的中立の原則」

が定められています。

当金庫では、この3原則にもとづき

中期計画および年度事業計画等を策定して事業を運営しています。



R ろうきんの基本姿勢

目的

〈ろうきん〉は、
はたらく仲間がつくった
福祉金融機関です。

〈ろうきん〉は労働組合や生活協同組合のはたらく仲間が、お互いを助け合うために、資金を出し合っつてつくった協同組織の金融機関です。

運営

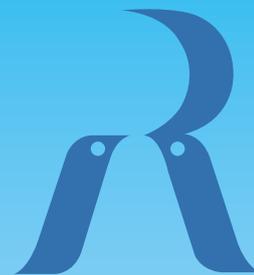
〈ろうきん〉は、
営利を目的としない
金融機関です。

〈ろうきん〉は労働金庫法というルールにもとづいて、非営利を原則に公平かつ民主的に運営されています。

運用

〈ろうきん〉は、
生活者本位に考える
金融機関です。

〈ろうきん〉の業務内容は、預金やローン・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。しかし、資金の運用がまったく違います。働く人たちからお預かりした資金は、働く人たちの大切な共有財産として、住宅・結婚・教育資金など、はたらく仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。



Contents

運営理念	1
静岡ろうきんの概要	2
ごあいさつ	3
第4期中期計画『Connect R70』	4
2021年度の事業環境と業績	5
ろうきんSDGs行動指針	7
静岡ろうきんSDGs実践方針	9
SDGs達成に向けた具体的取組み	11
静岡ろうきんの歩み	18



静岡ろうきんの概要

(2022年3月末)

本店所在地	静岡市葵区黒金町5番地の1
創立	1953年3月1日
出資金	38億円
店舗数	27店舗(インターネット静岡支店含む)
団体会員数	2,299会員
間接構成員数	549,966人
預金残高	1兆2,201億円(譲渡性預金含む)
融資残高	9,315億円

ごあいさつ

創立70周年にあたり、成長し続けてきた運動と事業を、感謝とともに未来へつなげます。



平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、ディスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

2021年度からスタートした第4期中期計画（2021-2023年度）『Connect R70』では、「会員との協働」、「地域共生・持続可能な社会への貢献」、「環境変化に対応し先を見据えた戦略」、「ひとづくり・組織づくり」の4つを基本戦略に掲げ、各施策を進めております。

初年度となる2021年度は、基本戦略を軌道に乗せる重要な年度として、会員や運営委員の皆さまと当金庫の役職員が共に人と人、社会をつなぐ取組みを進めた結果、預金・融資ともに目標を上回る成果を得ることができました。これもひとえに皆さまのご理解とご協力によるものであり、この場を借りて感謝申し上げます。

金融機関を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、低金利環境の長期化、デジタル化の進展、異業種からの金融業への参入など、厳しさを増しています。また、新型コロナウイルス感染症や国際情勢の悪化などによる物価高騰に給与水準が伴わない状況は、勤労者にとっても可処分所得の減少を始め様々な影響をおよぼしており、先の見えない不安が拡がりを見せています。このよう

な環境下だからこそ、誰一人取り残さない持続可能な社会づくりのため、会員・勤労者の“つながり”をさらに強め、助け合いの輪を社会に広げていくことが協同組織の福祉金融機関である当金庫の果たすべき役割であると認識しております。

2022年度は、第4期中期計画『Connect R70』の中間年度として、3か年の目標を確かなものにするために、初年度の成果を受け継ぎながら着実に活動を進展させる大切な1年となります。また、2023年3月に創立70周年を迎える年度として『これまでの感謝を、これからの未来へ。』のスローガンのもと、未来志向の周年記念事業をスタートしました。創立の原点、〈静岡ろうきん〉の存在意義を見つめ直し、会員や利用者をはじめとして、関連団体の皆さまのこれまでのご協力・ご尽力に感謝し、これからの〈静岡ろうきん〉の運動と事業を未来につなげてまいります。また、引き続きお客様本位の業務運営に徹し、役職員が一丸となり、どこよりもやさしい（優しい・易しい）金融機関をめざし取組んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022年7月

理事長 増田 泰孝

第4期中期計画 2021年度～2023年度



『Connect R70』

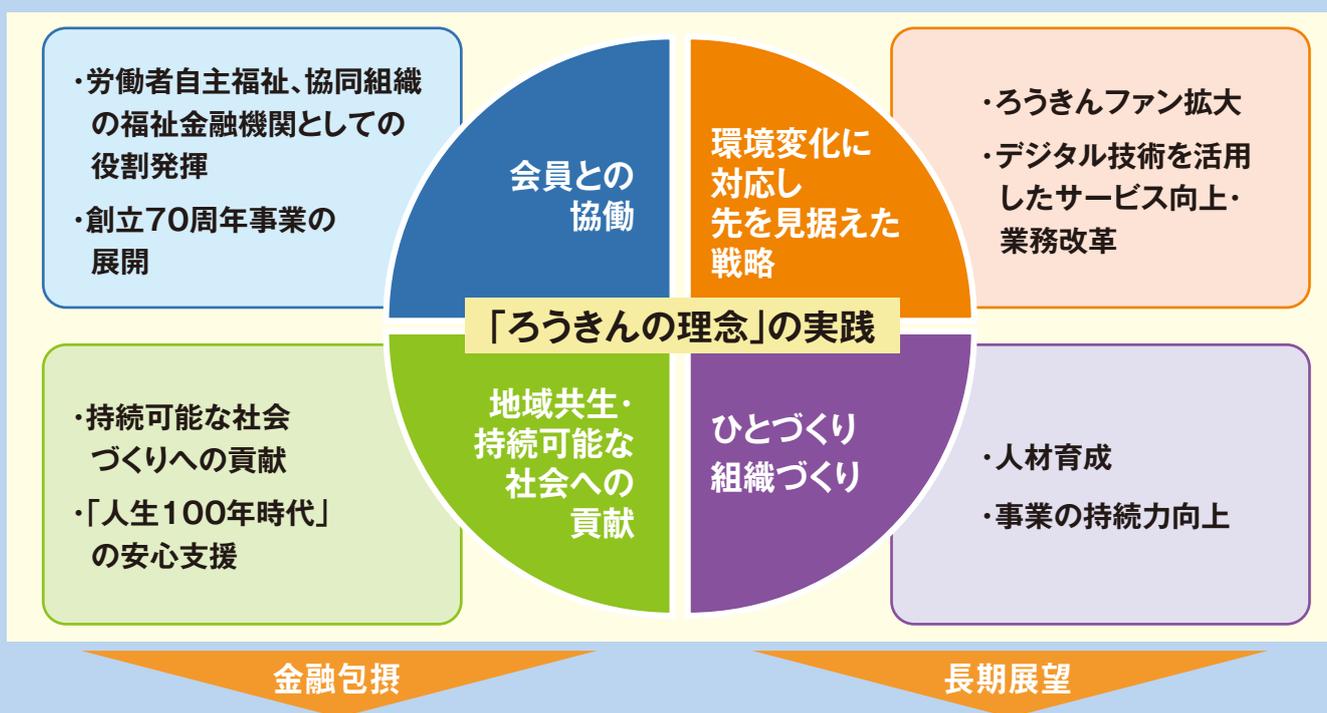


～〈ろうきん〉の役割発揮で人と人、社会をつなぐ～

- ▶ 格差や孤立を生む社会への不安に対し、協同組織の福祉金融機関である〈ろうきん〉は、勤労者が安心できる持続可能な社会づくりのため、会員・勤労者の“つながり”をさらに強め、助け合いの輪を社会に広げます。
- ▶ 〈ろうきん〉は引き続きお客様本位の業務運営に徹し、どこよりもやさしい(優しい・易しい)金融機関を目指すことで、会員とともに「ろうきんファン」の拡大につなげます。
- ▶ 今日までの70年成長し続けてきた運動と事業を、感謝とともに未来へつなげます。



～基本戦略～ (概略)



「ろうきんの理念」の実践と第4期中期計画の重点課題への取組みを通じてSDGs達成に貢献します。

静岡ろうきん『長期展望』～10年後の目指す姿～

- ◆ 唯一の勤労者福祉金融機関、団体を会員とする協同組織の特性を活かした事業運営で、会員、間接構成員はもとより、勤労者、非営利・協同セクター、事業主、行政等、勤労者福祉を志向する関係者に必要とされる存在であること
- ◆ 「人生100年時代」において、勤労者が一生涯にわたり、もっとも安心・信頼して利用できる存在であること
- ◆ 持続可能な社会づくりに貢献し、社会から認められる存在であること

2021年度の事業環境と業績

▶ 事業環境

国内景気は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の制限により、4-6月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.4%、7-9月期同△2.8%と低調に推移しました。その後、感染拡大が落ち着いたことや生産部品の不足が緩和されたことから、年末にかけて経済活動の正常化が急速に進みました。1月以降は感染再拡大による人出の減少や、国際情勢の不安定化が景気に悪影響を与えました。

個人消費は、9月末の緊急事態宣言解除後に外食や旅行、娯楽関連を中心に回復する場面もありましたが、各種活動の制限・自粛や供給制約に伴う耐久財生産の減少の影響により足踏みが続きました。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みのもと、2%の「物価安定の目標」実現をめざす金融政策を継続しました。長期金利は1月以降に米国の長期金利上昇や物価上昇への懸念から上昇しました。年間を通じては概ね0.000%~0.250%の範囲で推移しました。

このような情勢から、引き続き厳しい事業環境にありましたが、第4期中期計画『Connect R70』の初年度として、「会員との協働」「地域共生・持続可能な社会への貢献」「環境変化に対応し先を見据えた戦略」「ひとつづくり・組織づくり」を基本戦略に掲げ、会員・勤労者の「つながり」をさらに強めてどこよりもやさしい(優しい・易しい)金融機関を目指すことで、「運動」と「事業」の発展につなげました。

▶ 業績の概要

会員・出資金 **2,299**会員・**38億56**百万円

ろうきん運動の基盤拡充のため、運営委員会・会員と連携した会員加入促進の取組みにより、新たに18団体が加入しました。一方、「構成員減少」や「会員企業の合併や組織再編による解散」等を理由とした脱退が53会員あり、団体会員は前期より35会員少ない2,299会員となりました。個人出資会員は、取引整理や死亡等の確認により前期より27会員減少し、311会員となりました。

出資金は、前期より4百万円減少し、38億56百万円となりました。

預金残高 **1兆2,201億80**百万円

勤労者の将来に向けた資産形成として、事前アンケート等により各会員の実情にあわせた財形・エース預金の積立預金や季節預金運動に取組みました。

金利上昇せ定期である「相続専用定期」「退職金専用定期」の預入期間を3年および5年とし、退職金の預け入れをはじめとしたお客様のニーズにお応えするとともに、退職予定者へのセカンドライフプランの提案を積極的に行いました。

非対面で預け入れのできる「Web版定期」を含めた各種金利上昇せ定期での利用拡大につながり、結果、金利上昇せ定期預金6商品の預入実績は37,141件1,123億79百万円(前期比3,433件増・105億20百万円増)と預金増加に寄与しました。

また、家族ぐるみ利用の取組みとして、ご家族を紹介いただくキャンペーンやお子さまの将来に備えた積立をお勧めする「キッズエース預金」等、勤労者とその家族への取引拡大、ろうきん普通口座メイン化への取組みによる給与振込口座指定の増加や、各団体等からの預け入れも預金増加に寄与しました。

▼預金残高の推移(譲渡性預金を含む)



預かり資産残高 **337億72**百万円

「人生100年時代」をより豊かなものにしていくため、会員や間接構成員に向けた「資産運用セミナー」を積極的に開催するなど、資産形成に向けた支援に努めました。

預かり資産残高は、個人向け国債の満期償還や金利低迷による新規利用減少により国債44億53百万円減、投資信託はお客様の資産形成ニーズに応える販売が着実に進み6億77百万円増となりました。

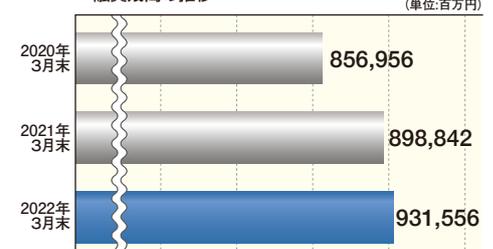
融資残高 **9,315億56**百万円

有担保ローンでは競合他行の攻勢、輸入材の高騰や全地域での住宅フェスティバルが中止となった影響等により前期実績を下回ったものの、会員における教宣活動や相談しやすい利用環境の整備、住宅業者会との連携強化、金利割引制度の見直しなどにより、新規利用者数は3,040人となりました。

無担保ローンについては、半導体等の部品不足による新車販売台数の減少等によりオートローンの利用が大きく減少しました(前期比496件減)。厳しい環境下ではありましたが、Webによる簡便な仮申込の提案や勤労者の可処分所得向上を図る「家計見直し運動」を多くの会員で展開するなど、生活支援を通じた福祉金融機関としての役割発揮に努めました。教育ローンキャンペーンや金利割引制度の見直しにより多くの勤労者の皆さまにご利用いただき、新規利用者数は9,440人となりました。

カードローンは、非対面取引のニーズの高まりから「Webマイプラン」の利便性や優位性の教宣強化を会員やマスメディアを通じて行いました。また、不妊治療を必要とする勤労者を経済面でサポートすることを目的とした妊活サポートローン「あ・ゆ・み」についても周知活動を継続しました。

▼融資残高の推移



収支の状況

21億96百万円

2021年度から「収益認識に関する会計基準」が適用され財務諸表等を消費税抜方式で作成しておりますが、計画値が消費税込金額のため、実績・計画比は消費税等込の金額で記載しております。

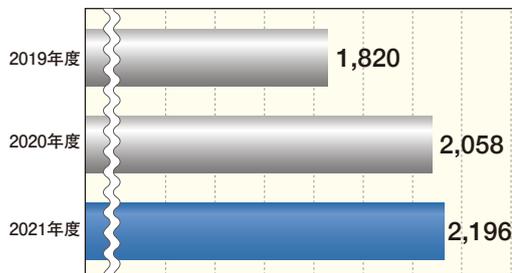
経常収益は計画を5億83百万円上回る149億56百万円となりました。貸出金残高増加により貸出金利息は計画を1億68百万円上回りました。また、団体信用生命保険の配当金等その他業務収益が計画を2億41百万円上回りました。

経常費用は業務の電子化や効率化などにより計画を7億91百万円下回る120億30百万円となりました。

この結果、経常利益は計画比13億74百万円増の29億26百万円、当期純利益は計画比10億20百万円増の21億96百万円となりました。

▼当期純利益の推移

(単位:百万円)



自己資本比率

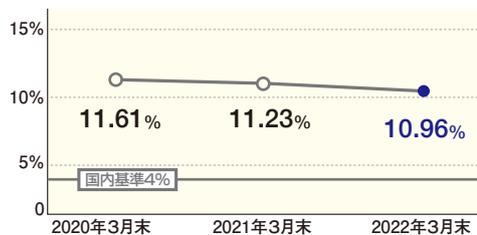
10.96%

(詳しくは、資料編の「自己資本の充実の状況」をご覧ください。)

貸出金増加に伴い、自己資本比率算出の分母となるリスクアセット額が増加したことから、2022年3月末の自己資本比率は前期末から0.27ポイント低下し10.96%となりました。

引き続き、国内基準の最低所要自己資本比率である4%を上回る水準を維持しています。

▼自己資本比率(単体)の推移



事業の展望および課題

国内外の経済および社会動向は、引き続き新型コロナウイルス感染症に大きな影響を受ける不安定さが続く見込みです。

金融業界においては、低金利環境の長期化と競争の激化、デジタル化の進展、地域金融機関の業務提携の加速、異業種からの金融業務への参入、店舗網の再編やATM配置の見直し等による経営効率化の加速等、事業環境の変化が続いています。

こうした環境の下、2022年度に当金庫は創立70周年の節目を迎えます。協同組織の福祉金融機関として不変の役割を果たすとともに、多様化する福利共済活動のニーズに応えるため、時代に相応しい役割発揮に取組みます。また、住宅ローン・無担保ローンの利用促進による貸出金利息の増加に加え、余剰資金運用の高度化、投資信託や共済・保険商品の取扱い等による収益確保とともに、デジタル技術を活用した事務の効率化等を進めコスト削減に努めることにより事業基盤の確保につなげてまいります。

●主な事業状況の推移

(単位:百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
経常収益	14,770	14,796	14,829	14,953	14,885
経常利益	1,724	1,891	2,227	2,728	2,926
当期純利益	1,318	1,414	1,820	2,058	2,196
純資産額	81,102	82,603	82,959	84,424	84,771
総資産額	1,253,758	1,331,202	1,338,873	1,343,335	1,347,219
貸出金残高	753,184	810,323	856,956	898,842	931,556
有価証券残高	142,369	144,210	142,189	144,151	137,204
預金積金残高	1,020,882	1,078,136	1,098,022	1,154,218	1,199,923
出資総額	3,880	3,874	3,865	3,860	3,856
出資総口数(口)	3,880,847	3,874,754	3,865,383	3,860,523	3,856,836
出資に対する配当金	116	116	115	115	115
職員数(人)	689	694	693	694	672
単体自己資本比率(%)	12.94	12.09	11.61	11.23	10.96

(注) 1. 預金積金残高は、譲渡性預金を除いて記載しています。

2. 2021年度においては「収益認識に関する会計基準」が適用され財務諸表等を税抜方式で記載しています。

ろうきんSDGs行動指針

▶ SDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに達成をめざす国際目標です。貧困、気候変動などさまざまな課題を解決し、「持続可能」な社会を実現するため17の目標と、そのゴールごとに設定された169のターゲット(個別目標)で構成されています。この目標達成に向けて、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▶ ろうきんSDGs行動指針

ろうきん協会は、2019年3月、SDGs推進に向けて、業態統一で取組む方向性を示した「ろうきんSDGs行動指針」を公表しました。

〈静岡ろうきん〉は、これを契機に、「静岡ろうきんSDGs実践方針」を策定(2022年度に一部改正)し、会員・地域社会と一体となって取組みを進め、人々が喜びをもって共生できる社会そして、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現をめざします。

ろうきんSDGs行動指針 ~2019年3月~

- 〈ろうきん〉は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取り組んでいます。〈ろうきん〉は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取り組むことを通じて、SDGsの達成をめざします。
- 〈ろうきん〉は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。
- 〈ろうきん〉は、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団などの非営利・協同セクター、自治体などとのネットワークを強化し、連携して地域における福祉・教育・環境・自然災害などの社会的課題の解決に取り組んでいきます。
- 〈ろうきん〉は、SDGs達成に向けた様々な取組みやその成果を発信し、〈ろうきん〉を利用することがSDGs推進につながっていくことを会員や勤労者など広く社会に伝えることにより、SDGs達成に向けた共感の輪を広げていきます。

〈ろうきん協会 策定〉



▶ ろうきんとSDGs

〈ろうきん〉は、1950年の誕生以来、一貫して勤労者に寄り添い、その生活を金融面からサポートしてきました。2015年度には2025年までの10年間で〈ろうきん〉がめざす姿を描いた「ろうきんビジョン」を策定し、高金利カードローン借換えによる勤労者の可処分所得向上や、非正規雇用の勤労者への融資、行政と連携した失業者への就労支援、金融経済教育の推進など、勤労者の生活向上、就労・社会参加、経済的自立のための支援に取り組んできました。

SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす、いわゆる「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。



静岡ろうきんSDGs実践方針

～「ろうきんの理念」が育む。これまでも、これからも～

働く仲間や地域社会との70年の歩みは、ろうきんの理念の実践による「人々が喜びをもって共生できる社会の実現」に取り組んできた歴史です。当金庫は、会員・利用者・地域社会に貢献することこそが、社会の一員、そして協同組織の福祉金融機関に期待される役割であり、果たすべき責任であると考えます。このような考えのもとで会員とともに進める金庫の事業や社会貢献活動は、SDGsのめざす「持続可能な社会の実現」につながるとの認識に立ち、引き続き、「静岡ろうきんSDGs実践方針」に掲げる各取組みを通じて、つながりと助け合いの輪を社会に広げていきます。

会員とともに実践する持続可能な社会の実現に向けた取組み

働く人の豊かなくらしづくりを応援します

- ・働く人からお預かりした預金は、働く人の生活や夢の実現に必要な融資に活用するといった相互扶助に基づく事業を通じて、働く人のくらしづくりを支援しています。
- ・働く人のライフプランに適した商品の提案（貯蓄の奨励、可処分所得の向上）を通じて、一生涯に亘る取引を形成します。
- ・LGBT等の多様な性に関する社会的関心の高まりを踏まえ、お客様の幅広いニーズにお応えするため、LGBT・同性パートナーに対応した融資を取扱っています。
- ・しずおか子育て優待カード事業に協賛し、低利な「子育て応援ローン」や医療費や介護費など福祉に関わる「福祉ローン」を提供するとともに、高齢者層や女性層のニーズに応える商品を提供していきます。また、不妊治療の関連諸費用をサポートするために、妊活サポートローン「あ・ゆ・み」の取扱いをしています。



金融サービスへアクセスしやすい環境を促進・整備します

- ・平日の通常窓口に加え、時間外の「水曜よりみち相談会」・「土・日のんびり相談会」を開催すると共に、「Web相談」「来店・相談予約システム」や「インターネットローン仮申込み」「Web完結型ローン」等の非対面チャネルにより各種相談ニーズに応えます。
- ・「ろうきんアプリ」「ろうきんダイレクト（インターネットバンキング）」により、ご自宅のパソコンやスマートフォンなどで残高照会、振込手続き、定期預金等の入出金、投資信託の購入等の手続きができる環境を提供しています。
- ・お近くのコンビニや他金融機関のATMで「ろうきん」のキャッシュカードをご利用いただいた場合にかかる手数料を、全額即時キャッシュバックしています。
- ・高齢者層にも安心してご来店いただけるよう認知症サポーター養成講座を受講した職員を全店に配置し、お客様の目線に立った対応を実践しています。



金融リテラシーを高める取組みをすすめます

- ・会員や地域における消費生活セミナー等や中・高・大学生向けの金融教育講座等を実施しています（ロッキースタッフ活動）。
- ・社会問題となっている特殊詐欺等から働く人とその家族を守るために、情報誌やダイレクトメールへ詐欺防止啓発記事を掲載します。窓口での声かけやATMコーナーでの通話禁止の呼びかけ、高齢者層のATM利用限度額（振込・出金）の一部制限により、特殊詐欺等による被害を未然に防ぐ取組みを実践します。また、成年年齢引き下げに伴い、消費者トラブル等の被害から若年層を守る取組みを実施します。
- ・投資先の決定にあたっては、ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組みを考慮し、独立行政法人国際協力機構（JICA）発行のソーシャルボンドへ投資しています。
- ・「21世紀金融行動原則」*への署名に基づき、持続可能な社会の形成にむけた最善の取組みを推進します。
*環境省中央環境審議会の提言に基づき、幅広い金融機関が参加した起草委員会によって策定された行動指針。



災害被災者や新型コロナウイルスによる影響を受けた方、求職者等への支援に取組みます

- ・〈ろうきん〉窓口における系統内の義援金受入口座へ振込（送金）する場合の手数料を無料にしています。
- ・自然災害等の緊急時に被災により通帳や印鑑を紛失しても窓口で預金を払い戻せる態勢や復旧に利用いただける「災害救援ローン」を迅速に提供できる態勢を整えています。
- ・勤労者生活支援特別融資制度により、新型コロナウイルスの影響、または勤務先の事情、自然災害等により収入が減少した方や離職を余儀なくされた方を支援します。
- ・求職者等の支援として、厚生労働省との提携融資制度（技能者育成資金融資、求職者支援資金融資）を提供しています。



取組み事例

環境への取組み

環境保護に取組む団体の支援や、職員への環境教育、地域の環境保護活動への参加などに積極的に取組めます。

- ・(公財)静岡県グリーンバンクの緑化活動への支援
- ・静岡市シェアサイクル事業「PULCLE (パルクル)」ステーション設置
- ・環境保護活動(河川清掃)への参加
- ・間伐材などの未利用資源の活用・地産地消を支援



地域への貢献活動

地域の課題解決に向けて主体的に活動しているNPO等を積極的に支援します。

- ・県立特別支援学校全25校への「ロッキーブック」の寄贈
- ・地域の課題解決に活動するNPO等への寄付・支援(認定NPO法人フードバンクふじのくに、(公財)ふじのくに未来財団、認定NPO法人オールしずおかベストコミュニティ、令和3年7月大雨災害静岡県義援金)
- ・県内子ども食堂へクリスマスプレゼント贈呈
- ・Jリーグ 清水エスパルス・ジュビロ磐田のホームゲームで「福祉シート」へ障がいのある方を招待
- ・プロバスケットボールB3リーグ ベルテックス静岡のホームゲームへ小学生を招待



働く人のくらしを守る取組み

自然災害時に地域と連携して被災された方々の支援を実践できる環境を整えます。

- ・県内4店舗(富士、清水、磐田、静岡中央)に飲料水を貯水できるリザーバータンクを設置
- ・静岡県などと災害時に店舗駐車場を災害ボランティアに貸与する覚書を締結
- ・店舗に太陽光パネルや自家発電機を設置



働く人のくらしを支える取組み

各種セミナー等を通じて働く人へ有益な情報提供をするとともに、さまざまな特色ある取組みを行います。

- ・働く人とその家族が多重債務や消費者トラブルに陥ることを防止するためのセミナー等の開催、啓発活動の積極展開
- ・各種学校法人、公立学校等へ消費者教育に関する講師派遣
- ・「マネートラブルにかつ!」などの学習ツールを広範に提供することにより金融知識等の習得を支援



お客様満足向上の取組み

〈ろうきん〉の利用を通じて、社会貢献活動に参加できる仕組みを提供することにより、〈ろうきん〉を利用する価値を高めます。

- ・地域で活動しているNPO団体等へお客様の〈ろうきん〉利用に応じた寄付を実施
- ・お客様が直接NPO等の支援に参加できる仕組みとして、ろうきんポイントサービス「Rポ(アルポ)」を活用した寄付の機会を提供



福祉事業団体と連携した社会貢献活動

〈静岡ろうきん〉の会員からの拠出によって積み立てた「地域役立資金」「地震災害対策資金」「NPO助成資金」は、(一社)静岡県労働者福祉協議会と(公財)静岡県労働者福祉基金協会の管理・活動を通じて、社会に有効活用されています。

地域役立資金

地震災害対策資金

NPO助成資金

- ・県内9大学53名の大学生へのロッキー奨学金授与
- ・県労協協教育ローン利子補給制度の提供
- ・暮らしなんでも相談
- ・ロッキーカレッジ公開講座の実施
- ・災害ボランティアネットワーク委員会への支援
- ・県内外の災害ボランティアとの連携強化支援
- ・「支え合う社会を実現するためのプロジェクト」充足



静岡ろうきん × SDGs

- ・静岡ろうきんは、地域で働く仲間の生活を豊かにする事業を通じて、人と人、人と地域をつなぎ、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に貢献します。
- ・静岡ろうきんは、地域社会の一員として、地域の課題解決とSDGsの達成に向けて自らが考え行動します。

SDGs達成に向けた具体的取組み

働く人の豊かなくらしづくりを応援します

働く人からお預かりした「ご預金」は、「ご融資金」として働く人の住宅取得やマイカー購入費用などに活用されており、その「お金」には、はたらく仲間の助け合いの想いが込められています。



ライフステージに合った商品・サービスを拡充し、働く人とその家族に一生涯ご利用いただける〈ろうきん〉を目指します。

●金利上乘せ定期

お客様の大切なご預金をより有利にお預け入れいただき、ご自身やご家族のライフイベントへの備えとしていただくため、店頭表示金利に金利を上乘せする各種「金利上乘せ定期」をご用意しています。



●財形貯蓄・エース預金

将来に向けたお積立てに最適な預金商品として、給与天引きによる積立てが可能な「財形貯蓄」や普通預金口座からの振替により積立て可能な「エース預金」をご用意しています。



結婚



出産・子育て



子どもの成長



生活の充実



セカンドライフ

●妊活サポートローン 「あ・ゆ・み」

子どもを望むご夫婦・パートナーが不妊・不育症治療を選択される際の金融サポートとして、妊活サポートローン「あ・ゆ・み」(Web受付専用カードローン)をご用意しています。



●住宅ローン・無担保ローン

マイホームの新築・購入・増改築・住宅ローン借換えなど幅広い用途にご利用いただける「住宅ローン」や、マイカー購入・教育資金・ローンのおまとめなどニーズに合わせてご利用いただける「無担保ローン」各種をご用意しています。



●子育て応援ローン・福祉ローン

育児にかかる費用を対象とした「子育て応援ローン」、介護費や医療費を対象とした「福祉ローン」をご用意しています。



金融サービスへアクセスしやすい環境を促進・整備します

すべてのお客様に安心して、便利にご利用いただけるよう、各種サービスの充実に努めています。



●ご来店いただきやすい店舗づくり

- ・視覚に障がいがある方が窓口での振込手続きを希望された場合には、ATM利用時と同額の振込手数料でお手続きいたします。また、各種通知等を点字と活字を併記した書面で行う「ろうきん点字通知サービス」の取扱い、当金庫職員による代筆、代読などにより、各種手続きをお手伝いしています。
- ・全営業店に点字ブロックを敷設しており、ご来店いただきやすい環境を整えています。
- ・ATMにはハンドセット(受話器)による音声案内機能を導入し、点字シールでご案内しています。
- ・窓口には、聴力補助器具や会話補助ボードを配備しています。
- ・ご高齢の方にも安心してご来店いただけるよう、全店舗に認知症サポーターの講習を受講した職員を配置しています。
- ・平日の通常窓口に加え、「水曜よりみち相談会」、「土・日のんびり相談会」を開催し、相談ニーズに応えています。
- ・全営業店でお客様向け無料Wi-Fi環境を提供しています。



認知症サポーター

聴力補助器具



会話補助ボード

●くらしに便利なサービスの提供

ATM手数料 キャッシュバックサービス	他の金融機関(銀行・ゆうちょ銀行・信用金庫・JA等)のATMで(ろうきん)のキャッシュカードや、マイプランなどのローンカードをご利用いただいた場合の「お引出し・お預入れ」利用手数料を、即時、お客様のお取引口座へお戻しします。
ろうきんダイレクト	(ろうきん)が提供するインターネット、テレフォンバンキング、Webお知らせサービス(Web上での各種通知確認)の総称です。営業店窓口やATMまで行かなくても、パソコンやスマートフォン等があれば、ご自宅や外出先でご利用いただけます。
ろうきんアプリ	スマートフォンから手軽に普通預金口座の入出金履歴照会や相談予約、税公金のお支払いや住所変更手続きなどをご利用いただけるサービスです。(静岡ろうきん)のタイムリーなキャンペーン情報や通知もご確認いただけます。
PayPay J-Coin Pay au PAY 他	提携各社が提供するスマホ決済サービスに(ろうきん)の普通預金口座を連携いただけます。当該アプリ内で(ろうきん)の口座を登録いただくと、(ろうきん)口座からの入出金(チャージや戻入れ)をご利用いただけます。



●お客様の期待にお応えする取組み

- ・お客様サービスセンターでは、お客様からのお問い合わせ、ご意見・ご要望をフリーダイヤル等にてお受けしています。いただいたご意見・ご要望は、商品・サービスや業務の改善等に反映しています。
- ・今後も、お客様からいただいた貴重なご意見をもとに、お客様満足向上に向け、より良い商品・サービスを提供し、安心してご利用いただける(ろうきん)をめざします。

●金融 ADR 制度(金融分野における裁判外紛争解決制度)への対応

金融ADR制度は、金融商品・サービスの多様化・複雑化に伴い、苦情・紛争などのトラブルを簡易・迅速に解決する手段です。

▶苦情処理措置

(ろうきん)は、お客様からの苦情のお申し出に、公正かつ的確に対応するため、業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ・パンフレット等で公表しています。

【苦情・相談等窓口】	静岡県労働金庫 お客様サービスセンター 電話番号：0120-609-123 受付時間：9:00～18:00(土日・祝日および金融機関の休日を除く)	全国労働金庫協会 ろうきん相談所 電話番号：0120-177-288 受付時間：9:00～17:00(土日・祝日および金融機関の休日を除く)
------------	---	--

▶紛争解決措置

紛争解決のため、上記の苦情・相談等窓口にお申し出があれば、以下の紛争解決機関に取り次ぎいたします。また、お客様から各弁護士会の紛争解決機関に直接お申し出いただくことも可能です。

東京弁護士会 / 電話番号:03-3581-0031	第一東京弁護士会 / 電話番号:03-3595-8588
第二東京弁護士会 / 電話番号:03-3581-2249	静岡県弁護士会 / 電話番号:054-252-0008

フリーダイヤル等を通じて
いただいたご意見など



SDGs達成に向けた具体的取組み

金融リテラシーを高める取組みをすすめます

勤労者へ金融に関する情報提供や生活を支援するさまざまな取組みを行っています。



● 有益な情報提供

新入組合員セミナーや資産運用セミナー、ライフプランセミナーなどの各種セミナーを通じ、勤労者に有益な情報を提供しています。

Webを活用し、ライフイベントや年代別ニーズに応じた各種セミナーを実施しました。また、ろうきんアプリのプッシュ通知やメルマガを通じ、最新の制度やサービス・詐欺防止に向けた案内を継続的に発信しました。



● 県内の学生等への学習支援

県内の小中学校・高校・専門学校・大学で、社会生活に役立てていただけるよう、消費者教育を行っています。

県内各校において、「ライフプランセミナー」や「消費者教育セミナー」を計8回実施しました。2022年4月1日より成年年齢が引き下げられることを踏まえ、「貯蓄の重要性」や「クレジットカードの仕組み」、「多重債務」等、マネートラブルに巻き込まれないための心構えをお伝えしました。



● 犯罪被害等防止の取組み

▶ インターネット犯罪への対策

- ・お客様に安心してインターネットバンキングをご利用いただくため、ウイルスや不正アクセスの侵入防止、駆除等を行うセキュリティツールを提供しています。
- ・複数のパスワードによる本人認証の実施、ワンタイムパスワードの導入（団体向けは、パスワード生成機によるワンタイムパスワード認証の導入）、パスワードの不正読取を防止する「ソフトウェアキーボード」を導入するなど、さまざまなセキュリティ対策を講じています。ワンタイムパスワードを使用しない振込取引は、限度額を一律20万円とする対策を講じています。

▶ 偽造・盗難キャッシュカードへの対策

- ・カードの使用をシステム監視しています。当金庫の基準に照らし、不正使用されている可能性がある場合と判定した場合は、お客様にお取引を確認させていただいています。
- ・偽造・盗難キャッシュカードの不正使用の被害に遭われた際に、お客様に過失や責任がないと判断した場合は、被害の全額を補償させていただきます。
- ・偽造や不正な読み取りが困難なICチップを搭載した「ICカード※」の取扱いをしています。
※ご利用いただけるATMに制限があります。

▶ 振り込み詐欺等への対策

- ・振り込み詐欺の防止対策として、注意を促すポスター等の掲示やホームページでの案内、ATM操作画面や音声案内により注意を呼びかけています。また、ATMコーナーでは携帯電話を使用しないようご協力をお願いしています。
- ・70歳以上のお客様で、一定期間ATMでの振込取引がない場合、ATMによる「振込取引の一部制限」を実施しています。また、2022年4月より、一定期間ATM(キャッシュカード)での1日20万円を超える支払いがない場合、ATMによる「支払い取引の一部利用制限」を開始しました。
- ・静岡県警と連携し、高齢のお客様が高額な現金支払いを希望される際には預金小切手の利用を推奨する「^{よて}預手プラン」等により、振り込み詐欺の被害防止に取組んでいます。
- ・「振り込み詐欺救済法」に関するお問い合わせ窓口を設け、被害の防止ならびに被害者救済に取組んでいます。

災害被災者等への支援に取り組めます

皆様の大切な財産をお預かりしている金融機関として、自然災害等に備えた対策や金融機能を活かし、被災された方々への支援に取り組んでいます。



● 災害等への対策

▶ 振込手数料の免除措置

（ろうきん）窓口における系統内の義援金受入口座への振込（送金）手数料は、免除扱いとしています。

▶ 自然災害による被災者救援ローン

自然災害等からの復興、生活再建に必要な資金ニーズに迅速に対応するため、平時より災害救援ローン、災害救援住宅ローンをご用意しています。

▶ 預金の払戻し手続きについて

緊急時に通帳・印鑑等を喪失した預金者からの預金払戻しの申し出に対し、迅速に対応できる態勢を整備しています。

▶ 自然災害による被災者への緊急措置

災害救助法の適用を受けた自然災害の影響により、借入れているローン等の返済ができなくなった債務者について、債務者の生活再建を支援する取組みを継続しています。

● 新型コロナウイルス感染症への対応

▶ 「勤労者生活支援特別融資制度」の相談対応

より細やかな相談を通じて、収入が減少した勤労者の生活を支援します。「勤労者生活支援特別融資制度」として、新規融資、既往融資の返済内容見直しを取扱っています。



福祉事業団体と連携した社会貢献活動

会員からの拠出によって積み上げた「地域役立資金」や「地震災害対策資金」、「NPO助成資金」は、資金管理団体である一般社団法人静岡県労働者福祉協議会および公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会の厳格な資金管理の下、それぞれ資金の目的に沿って有効活用されています。



● 「地域役立資金」・「地震災害対策資金」・「NPO助成資金」の活用

▶ 「地域役立資金」

- ・「ロッキー奨学金」として9大学53名の大学生に奨学金が授与されました。
- ・県労福協教育ローン利子補給制度にもとづき、対象者へ利子補給が行われました。
- ・「暮らし何でも相談」、「ロッキーカレッジ公開講座」等が実施されました。

▶ 「地震災害対策資金」

- ・県ボランティア協会が立ち上げた「南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会」への助成をはじめ、県内の災害ボランティア活動の基盤強化、さらに広域な県外災害ボランティアとの連携推進に向けた仕組みづくりの支援が行われています。

▶ 「NPO助成金」

- ・NPOパートナー委員会が中心となり、市民・行政・福祉事業団体等とNPOの連携による、「幸せを支え合う社会を実現する」プロジェクトを発足し、地域ごとの課題解決に向けた情報共有に取り組んでいます。また、「市民活動支援センター会議」を開催し、NPOの現状について情報交換が行われ、県内NPO活動を支援している中間支援団体と福祉事業団体のネットワークづくりを進めています。



SDGs達成に向けた具体的取組み

環境への取組み

環境保護に取組む団体の活動支援や職員への環境教育、地域の環境保護活動への参加などに積極的に取り組んでいます。



● 環境保護に役立宣言

▶ 地球温暖化対策事業等への支援

2009年度より「環境」に対する社会貢献活動の一環として、静岡県地球温暖化防止活動推進センターへ寄付しています。2021年度は無担保ローン『役立宣言』4商品のご契約1件につき50円、総額405,300円を寄付し、これまでの寄付金の累計は約970万円となりました。

寄付金は、県民運動「2021ふじのくにCOOLチャレンジ/ゴルフ事業」への支援や県内小学校における環境教育事業「アース・キッズチャレンジレギュラー」等の費用に活用されました。



県内小学校における「アース・キッズチャレンジレギュラー」

● 環境保護活動等への参加

「安倍川流木クリーンまつり」に参加し、地域の美化・環境保護活動に積極的に取り組んでいます。

● 静岡市シェアサイクル事業「PULCLE (パルクル) ステーション」の設置

公共交通機関の補完、利用促進、自動車交通の抑制による環境負荷の軽減に協力しています。

地域への貢献活動

地域の課題解決に向けて主体的に活動しているNPO等を積極的に支援しています。

● 子育て支援に役立宣言

▶ 子どもたちの健全育成に取組む活動への支援

子育て支援活動に積極的に取組む県内のNPOへの助成を目的として、無担保ローン『役立宣言』4商品、福祉ローンのご契約1件につき50円を(公財)ふじのくに未来財団に寄付しています。

2021年度は、434,500円を寄付し、(公財)ふじのくに未来財団発足時からの寄付金の累計は399万円となりました。



● 県立特別支援学校全25校への「ロッキーブック」の寄贈

静岡県内の県立特別支援学校全25校に、各学校からリクエストいただいた合計242種類(284冊)の図書を寄贈しました。



NPOによる子育て支援活動風景

● 「ふじ子育てほっとステーション」への登録

子育て家庭が安心して外出できるように、富士支店内の多機能トイレを営業日に解放し、授乳とおむつ替えのために立ち寄ることができるスペースとして提供しています。



ふじ子育てほっとステーション



寄贈されたロッキーブック

● 地域社会で活躍する団体への支援

障がいを持つ方の自立支援事業に取り組んでいる認定NPO法人オールしずおかベストコミュニティへ、無担保ローン『役立宣言』4商品のご契約1件につき20円、総額162,120円を寄付し、共生社会の実現に向けた助け合いの輪を拡大しました。

● 「福祉シート」の無料提供

障がいを持つ方に地域スポーツを楽しんでいただくため、クラブスポンサーとして清水エスパルス、ジュビロ磐田と協同して、ホームゲームの「福祉シート」を無料で提供しています。

● 小学生の親子を招待

子ども達に地域スポーツを楽しんでいただくため、プロバスケットボールB3リーグ所属・ベルテックス静岡に協賛し、ホームゲームへ県内小学生の親子60組120名を招待する企画を実施しました。

● 地方創生への取組み

地方創生に係わる自治体の取組みへ協力するため、藤枝市・御前崎市と連携協定を締結しました。地域経済の活性化を目指し、学生のUターン就職を促す教育ローン制度の提供等を実施しています。2市のほか、これまでに協定を締結した6市とも連携して取組みを進めていきます。

●地域福祉に役立宣言

▶福祉車両等の寄贈

2006年度から県内の福祉施設等へ福祉車両等を寄贈しています。これまでの寄贈台数は、車いす560台(1998年度～2005年度)、福祉車両等32台となり、それぞれの地域の福祉活動に役立てられています。

2021年度は、沼津市の社会福祉法人へ車いす移動車1台を寄贈し、施設利用者の送迎などに活用いただいています。



福祉車両寄贈式

〈福祉車両等寄贈先一覧〉

年度	所在地	寄贈先	年度	所在地	寄贈先
2006	沼津市	① NPO法人 マム	2012	富士宮市	⑩ 社会福祉法人 富士宮福祉会 (特別養護老人ホーム 星の郷)
2007	静岡市清水区	② NPO法人 WAC清水さわやかサービス	2012	静岡市清水区	⑪ 社会福祉法人 吉原福祉会 (特別養護老人ホーム こもれびデイサービスセンター ひだまり)
	浜松市東区	③ NPO法人 ねっとわあくアミダス		牧之原市	⑫ NPO法人 すけっと・まきのはら (デイサービスセンター めくもり)
2008	下田市	④ 社会福祉法人 伊豆つくし会		袋井市	⑬ 社会福祉法人 なごみかぜ (生活介護事業所 風の森)
	藤枝市	⑤ 社会福祉法人 ハルモニア		浜松市南区	⑭ 株式会社 LCウェルネス・ここ倶楽部 NPO法人 ライフケア浜松
	浜松市北区	⑥ NPO法人 外出支援センター ガイドネット	2013	富士市	⑮ NPO法人 生き活き岳南クラブ・デイサービスほっと
2009	富士市	⑦ NPO法人 ふれあい富士		藤枝市	⑯ NPO法人 おのころ島
	静岡市駿河区	⑧ NPO法人 ぼくんち		菊川市	⑰ NPO法人 ハートあんどハート菊川
	掛川市	⑨ NPO法人 いやし処ほのぼの	2014	静岡市葵区	⑱ 認定NPO法人 フードバンクふじのくに【物資運搬用】
2010	裾野市	⑩ NPO法人 桃華会	2015	駿東郡清水町	⑲ NPO法人 シー・ディー・シー
	島田市	⑪ NPO法人 おとしよりの一日住宅 縁がわ	2016	静岡市清水区	⑳ NPO法人 清水障害者サポートセンターそら
	磐田市	⑫ NPO法人 ひなたぼっこ	2017	湖西市	㉑ 社会福祉法人 南浜名湖会 (特別養護老人ホーム 光湖苑)
2011	三島市	⑬ NPO法人 足長おじさん	2018	富士市	㉒ 社会福祉法人 インクルふじ
	静岡市葵区	⑭ NPO法人 クリエイト静岡 (友遊デイサービス)	2019	焼津市	㉓ NPO法人 インクルージョン志太
	浜松市東区	⑮ NPO法人 はままつ福祉応援団 (デイサービス 小春日和)	2020	掛川市	㉔ 社会福祉法人 大東福祉会
2012	伊東市	⑯ NPO法人 えん (サポートハウス えん)	2021	沼津市	㉕ 社会福祉法人 共生会

※寄贈先は寄贈時の名称を記載しています。

働く人のくらしを守る取組み



自然災害時に地域と連携して被災された方々の支援を実践できる環境を整えています。

●災害等への対策

▶防災機器用品の設置

各営業店に防災機器用品を設置しているほか、近隣住民への提供を目的にリザーバタンク機能を取り付けた受水槽を4店舗に設置し、大規模災害発生時の断水に備えています。

▶災害ボランティアへの駐車場貸与

大規模災害発生時に静岡県災害ボランティア本部・情報センターが活動拠点として利用するために当金庫の駐車場を無償で貸与する覚書を、静岡県、特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会との間で締結しています。

SDGs達成に向けた具体的取組み

働く人のくらしを支える取組み

多重債務問題や消費者問題に関する啓発活動を通じて、問題解決に向けた取組みを積極的に展開しています。



● 多重債務問題等への取組み

▶ 多重債務相談体制の充実

多重債務相談の専担者を県下各地に配置し、多重債務で悩んでいる方への生活再生に向けた相談活動を展開しています。2021年度は81件の相談に対応しました。また、各種融資制度を取扱うとともに、多重債務問題等に関する法的対応に備えて弁護士や司法書士とのネットワークを築いています。



▶ 消費生活支援等のセミナー開催

多重債務問題・悪質商法などの消費者トラブルの未然防止を目的としたセミナーを開催し、金融に関する学習・啓発活動を実施しています。専門家とのネットワークを活用し、最新の情報を入手するなどセミナー内容の充実を図り、2021年度は各会員において多重債務防止・クレサラ・家計見直しに関するセミナーを計429回開催しました。

▶ 教育冊子「マネートラブルにかつ!」の活用

契約の基本や悪質商法の手口、解決方法などについて、イラスト等を交えながら分かりやすく紹介している教育冊子「マネートラブルにかつ!」を活用した啓発活動を展開しています。また、動画版「マネートラブルにかつ!」は全国労働金庫協会のホームページ (<https://all.rokin.or.jp>) からご覧いただけます。



▶ 2022年度の取組方針

コロナ禍長期化の影響により、多重債務に陥る勤労者がこれまで以上に増加すると予想されます。当金庫では引き続き家計見直しを通じた可処分所得向上に向けた取組みを展開し、勤労者の安定した「くらし」と共助の拡大につなげると共に、タイムリーかつ迅速な対応でこの困難な状況に応えていきます。また、成年年齢引き下げに伴い、若年層勤労者への消費者教育につながる情報提供・啓発活動を積極的に展開していきます。

お客様満足向上の取組み

〈ろうきん〉のご利用が社会貢献につながる仕組みを通じて、お客様に〈ろうきん〉をご利用いただく価値を高め、お客様満足の向上に努めています。



● お客様の〈ろうきん〉利用に応じた寄付

無担保ローン『役立宣言』4商品、福祉ローンのご契約件数に応じて、地域のために活動する団体へ寄付を行いました。

2021年度は、3団体(静岡県地球温暖化防止活動推進センター、(公財)ふじのくに未来財団、認定NPO法人オールしずおかベストコミュニティ)へ寄付を行い、活用いただきました。



〈ろうきん〉は地域のために活動する団体へ皆様のご利用に応じた寄付を行っています。



● お客様の直接参加による支援活動

2015年度よりポイントアッププレゼント制度を通じたお客様の直接参加による寄付を実施しており、2020年度からは新設したRポ(アルポ)制度のポイントによる寄付を行っています。お客様の寄付ポイントに、〈ろうきん〉からの拠出金を合わせて、「認定NPO法人フードバンクふじのくに」および「公益財団法人静岡県グリーンバンク」に寄付しています。2021年度までの寄付金の累計は約827万円(うちろうきん)拠出金約322万円)となりました。





【静岡ろうきんの歩み】

1953年の創立から現在に至るまでの〈静岡ろうきん〉の歩みは、そのまま社会金融発展の歴史でした。
〈静岡ろうきん〉はこれからも、働く人たちとの結びつきを大切に、豊かでくらしやすい社会づくりをめざしていきます。

- 1953 ・静岡県労働金庫(静岡ろうきん)創立
- 1956 ・銀行に先駆けて住宅資金貸出開始
- 1957 ・季節預金運動スタート
- 1959 ・住宅金融公庫代理業務取扱開始
- 1960 ・いっせい積立取組開始
- 1965 ・未組織勤労者のろうきん利用開始
- 1971 ・オートローン、教育ローン取扱開始
- 1972 ・財形預金取扱開始
- 1977 ・貸出金利息の還元始める
・オンラインシステムスタート
- 1978 ・サラ金被害防止啓発活動活発化
- 1982 ・カードローン取扱開始
- 1985 ・新本店(現本店)落成
・全国ろうきんCDネットスタート
- 1987 ・カードローン「マイプラン」取扱開始
- 1992 ・「ろうきん社会貢献委員会」発足
- 1995 ・阪神・淡路大震災遺児支援定期<エール30>取扱開始
- 1996 ・ろうきんホームページ開設
・ポイントアッププレゼント制度スタート
- 1997 ・ろうきんのキャラクター「ロッキー」誕生
- 1998 ・福祉施設等へ「車いす」寄贈開始
- 2000 ・センタービル(現本部ビル)完成
・水曜よりみち相談会スタート
- 2004 ・日曜のんびり相談会スタート
- 2005 ・くらし応援ローン「役立宣言」取扱開始
- 2006 ・福祉施設等へ「福祉車両」寄贈開始
- 2007 ・ユニティシステム(全国労金共同システム)へ移行
・静岡ろうきん「環境宣言」制定
- 2009 ・「環境保護に役立宣言」制度スタート
- 2010 ・「地域役立資金」創設

- 2011 ・東日本大震災および静岡県東部地震特別災害
救済資金ローン取扱
- 2012 ・住宅ローン「固定30」取扱開始
- 2013 ・個人年金保険取扱開始
・創立60周年
- 2014 ・アール・ワンシステムへ移行
・労金協会が2015年度からの10年間で労働金庫が
めざす姿を描いた「ろうきんビジョン」を策定
・「就職内定者応援ローン」発売
・「夫婦連生団信付住宅ローン『ささえ愛』」取扱開始
- 2015 ・無担保住宅ローン「25(えがお)」発売
・高齢者財産管理サービス(遺言信託・遺産管理)取扱開始
・「オールマイティ保障型住宅ローン」取扱開始
- 2016 ・住宅ローン取扱開始60周年
・「ろうきんiDeCo」取扱開始
- 2017 ・「インターネットバンキング投資信託」取扱開始
・「口座開設アプリ」サービス開始
・「就業不能保障団信付住宅ローン」取扱開始
- 2018 ・「リバースモーゲージローン」取扱開始
- 2019 ・「静岡ろうきんSDGs実践方針」を制定
・「Webマイプラン」サービス開始
・「ろうきんアプリ」サービス開始
- 2020 ・スマホ決済サービスとの連携開始
・社会福祉協議会「緊急小口資金」取次ぎ業務の実施
・妊活サポートローン「あ・ゆ・み」発売
- 2021 ・第4期中期計画「Connect R70」スタート
・「WEB相談サービス」開始
・子育てサポート企業認定「くるみん」取得(3回目)
・創立70周年記念事業の開始

中期計画

事業環境と業績

ろうきんSDGs行動指針

静岡ろうきんSDGs実践方針

SDGs達成に向けた具体的取組み





いつもあなたの目線で。 静岡ろうきん

〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。

ピポパde ろうきん  携帯電話からでもOK!

フリーダイヤル 平日 9:00~18:00

0120-609-123

インターネットホームページ

<https://shizuoka.rokin.or.jp>



この冊子は間伐材を原料とする印刷紙を使用しています。



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。



Citrus Ribbon
PROJECT